

企業の中間決算の総括： 明暗を分けた要因を探る

日時

2025年 **12月10日(水)**
13:00～14:00



開催
方法

Zoomオンライン

参加
無料

講師

上野 雄史 先生

静岡県立大学 経営情報学部教授
専門：会計学、国際会計、企業分析

対象

どなたでも（市外・県外からの参加も可）

※Zoom情報は前日までに申込みメールにお送りします

企業の中間決算は明暗が分かれる形となりました。

トランプ関税の影響のためか、自動車会社大手のうち、マツダ、三菱、日産は赤字となった一方で、比較的堅調で利益の減益幅を10～20%程度に抑えられたのはトヨタ、スズキにとどまり、ホンダ、スバルは30%～40%を超える大幅減益となりました。

一方で、ソニーグループ、任天堂は増収増益を達成し、関税の影響を全く感じさせません。

全体として、上場企業の純利益総額は5年ぶりの減益となる見通しです。しかし、旺盛なAI関連需要や円安による輸出採算の改善が業績を底上げする要素として働くことが期待されます。

今回は、こうした実際の決算の状況を解説しながら、今後の日本経済の状況を考えていきます。

お問合わせ・お申込み

静岡市地域福祉共生センター「みなくる」

mina.crc@u-shizuoka-ken.ac.jp

※件名を「12月WEBセミナー申込」としてお名前、年齢、緊急連絡先をお知らせください